

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2018.5.31 No. 1 4 9

34すべての自治体から激励、アピールの工夫さらに進化、多くの街で支持と共感広がる！

13日間・6500人が参加！

60周年平和行進、大きな成果を残して終わる！



元気なひまわり園の子どもたち(藤沢市)



今日も元気に歩きました(湯河原町)



いつもブルーの横断幕が先頭で(海老名市)

こんな感動あちこちで・・・ほんの一部です

被爆者の皆さんのがんばりに励まされ、勇気をもらいました！

- *90歳代、80歳代の被爆者の方々が必死で歩き、「核兵器なくそう」のコールに多くの参加者が励まされ、核兵器廃絶の決意を新たにしました。
- *今年は、例年以上に、「被爆証言」をしたコースが多くありました。その内容は心に響くものでした。被爆者の方々は、「ヒバクシャ国際署名」への熱意を語り、署名への協力を懸命に呼びかけました。
- *県原爆被災者の会の前会長中村雄子さんの横浜3区での被爆証言を含むあいさつをはじめ、葉山町では92歳の方、川崎市、横須賀市、座間市、海老名市、鎌倉市、藤沢市、寒川町、厚木市、伊勢原市、秦野市、小田原市など各地で、被爆者の皆さんの被爆証言は、平和行進ならではのものであり、行政の方にも聞いていただき意義深いものとなりました。

生協の皆さんの意欲的な参加がどこでも光っていました！

- *県民ビスリレー実行委員会に参加している各生協の皆さんの参加が例年以上に増えていました。参加者も、若い人が目立ち、19日最終日は、ユーコープの新入職者27名が参加し若さあるれて圧巻でした。
- *参加にあたってはアピールの工夫に努力がみられ、新しい平和行進・市民とともに創る平和行進の可能性を感じさせてくれました。
 - ・フラッシュ・モブ(ダンス:平塚)、子どもたちのフラダンス(湯河原町)
 - ・手づくりアピールの工夫(ピースマン・キラキラうちわなど)
 - ・富士フィルム生協の皆さんのレインボーフラッグアピールも。

どのコースでも平和行進を支えた国民平和行進県実行委員会

- *いくつかの地域で参加者を広げようと、コース・内容など意欲的に改善する努力が見られました。コース変更で市民の反応が広がったところも。
- *新婦人は、どこでも参加数や参加の仕方を含め奮闘ぶりが光っていました。
- *全コースで70人～80人のアナウンサーの皆さんに感謝の拍手を！
- *労働組合では、建設労連、神奈川土建、国公共闘、JMITU、全印総連、年金者組合などの連日の奮闘がありました。

自治体の対応は、どこでもあたたかく、勇気づけられた！

- *すべての自治体からメッセージあり。賛同金・ペナントも多数自治体から。
- *松田町30人、二宮町20人をはじめ多くの自治体職員の出迎え・接待あり。

市民の反応総じてあたたかった。手振り、激励の声、募金・署名が

- *飛び入り参加が例年になく多くありました。ベビーカーの参加も。
- *ワンちゃんと散歩がてらの参加も。今年もひまわり園の子どもたちが参加。アピールコンテスト、3年目で「定着」しつつあり、秀作もいろいろ・・・。



ベビーカーでママも参加(藤沢市)

原水爆禁止2018世界大会申し込みはじまる！

間もなく原爆投下から73年目の広島・長崎の夏を迎えます。核兵器禁止条約の発効へ、朝鮮半島の非核化へと激動する中で、今年こそ300人以上の参加をやり遂げる決意です。県原水協では、「神奈川県参加要綱」は、6月1日にお届けします。よって、6月1日から参加申し込みを受け付けます。ご活用をよろしく。